1 大会テーマ

「つくる喜び　みる楽しみ　かかわる・つながる造形教育
～『よさ』が広がる造形活動を求めて～」

2 趣　旨

「子どもたち一人一人がもっている素直なこころを自然に表すことができる造形活動・集団づくりを進めたい」という願いから、本テーマを設定いたしました。造形教育は、多様なものや人やこととのかかわりの中に成り立ち、つくる喜びを味わい、みる楽しみを感じ、そのかかわり・つながりを深めることによって、より一層豊かなものになります。そして美しいものに感動したり、友達のよさを認めたりすることで、自分のよさが認められ、自己理解・他者理解がすすみ、自己肯定感が高まります。この考え方に立ち、「よさが認められ、さらに広がっていくこと」に光をあて、本研究大会を開催いたします。

3 主　管

新潟県中越美術教育研究会

4 共　催

上越美術教育連盟　下越美術教育研究会
高等学校教育研究会美術・工芸、書道部会

5 後　援

文部科学省　新潟県教育委員会　新潟県立近代美術館　秋山孝ポスター美術館長岡
長岡市教育委員会　三条市教育委員会　見附市教育委員会　小千谷市教育委員会
新潟県小学校教育研究会　新潟県中学校教育研究会　新潟県高等学校教育研究会
新潟県特別支援教育研究会　新潟県国公立幼稚園協会　新潟県私立幼稚園協会
長岡市教育研究協議会　新潟県小学校長会・中学校長会・特別支援学校長会
長岡造形大学　新潟大学　上越教育大学　長岡市芸術文化振興財団
新潟県教育弘済会　新潟県教職員厚生財団　新潟日報美術振興財団（予定含む）

6 日程・会場

１日目　８月４日

10:30		13:00		14:40		19:00	
受付	都県代表者会議	昼食移動	開会行事 基調提案 指導講評 文部科学省調査官　岡田京子様	移動	記念講演 講師　秋山　孝　氏	移動	レセプション
長岡リリックホール							ホテルニューオータニ長岡
作品展示・協賛企業展示（県立近代美術館ギャラリー）							

２日目　８月５日

10:30		13:00		
受付	分科会 「地域とのかかわり・素材とのかかわり・人とのかかわり」をテーマに	昼食移動	美術館研修	県立近代美術館
				秋山孝ポスター美術館長岡
長岡造形大学			ワークショップ	廃校ワークショップ
				造形大学ワークショップ
				美術館ワークショップ
作品展示・協賛企業展示（長岡造形大学ＮＩＤホール）				

＊ワークショップ会場は「10 ワークショップ」の項 参照

7 記念講演

講師：秋山 孝 氏（多摩美術大学教授）　　演題：「ユーモア」

＜プロフィール＞1952年新潟県長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京芸術大学大学院修了。1999年「秋山孝長岡コレクション」が設立される。 2009年7月11日「秋山孝ポスター美術館長岡」が開館。●受賞=1984年アフリカ自然保護ポスターデザインコンテスト・チュニジア大使館賞、1999年インド核実験反対のポスターでN.Y.フェスティバル・ 国連賞（アメリカ）、2007・’08 ’09・’10 Graphis Poster Annual（アメリカ）で9つの金賞を受賞、他多数。●著書に『キャラクター・コミュニケーション入門』（角川書店）『秋山孝ポスター作品集』（上海人民美術出版社）『Chinese Posters』（朝日新聞出版）他多数。

8 全 体 会

長岡リリックホール……長岡市千秋3丁目1356-6

指導講評　　岡田　京子　様

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官

9 美術館研修

県立近代美術館……長岡市千秋3丁目278-14

自然と調和した“緑に囲まれた美術館”です。所蔵作品は、近代日本美術との相互関係から、フランスのバルビゾン派やジャポニスム、ナビ派、ドイツ表現主義の美術を収集しています。
常設展では、「Animal! Animal! Animal!」、「ちひろの愛した画家」、「グラフィックデザイナー亀倉雄策」を鑑賞することができます。企画展では、「いわさきちひろ展～子どものしあわせを願って」が開催されます。8月5日の1日限定で、小学生による「子ども学芸員」の解説もあります。

秋山孝ポスター美術館長岡……新潟県長岡市宮内2-10-8

「秋山孝ポスター美術館長岡」は、ビジュアル・コミュニケーションを主体とするポスターやイラストレーションを国際的に研究する美術館です。
当日は、第7回「秋山孝ポスター展Ⅲ」を鑑賞することができます。酒蔵や味噌・醤油蔵の多い醸造の町『摂田屋』のまちかどにある、世界でも類のないポスターを中心とした美術館です。近くには、日本一美しい鰻絵（こてえ）の「機那サフラン酒」の蔵、ツタの絡まる「吉乃川（極上吉乃川）」の酒蔵、「越のむらさき」の醤油蔵、長岡藩が北越戊辰戦争の始まりを告げた光福寺など歴史的建造物や文化に触れることもできます。

10 ワークショップ

廃校ワークショップ……旧荷頃小学校／長岡市北荷頃4769

廃校を舞台としたインスタレーションのワークショップ
つなごう！荷頃小ヒストリー　つくろう！３９００の物語

長岡市栃尾の荷頃地区は、美しい日本の中山間地の原風景を色濃く残す地域です。旧荷頃小学校は、平成１７年３月の閉校記念式典をもって、明治６年私塾開学よりの１３２年の歴史を閉じ、現在、木造の体育館のみが残されております。
どの町の小学校もコミュニティーの中心であると思いますが、旧荷頃小も地域の方々のほとんどが卒業生であり、豪雪時の雪下ろしや施設・設備の整備を地域総出で行い、運動会や文化祭を楽しむ、といった具合でした。
今回のインスタレーションはそのような旧荷頃小の歴史や、送りだした卒業生３９００余名の存在を感じられるようにあらわしていければと考えています。地域の子どもたちを中心にワークショップ形式で制作いたします。

造形大学ワークショップ……長岡造形大学／長岡市千秋4丁目197

伝統・地域と織りなすカレッジワークショップ
～鰻絵と染めもので地域発信～

大学・関係機関との連携を深めた造形活動を行い、専門的な施設や人材とのつながりを深め、造形活動に生かし、そのよさを広げます。鰻絵（こてえ）を素材にしたワークショップと繊維を素材にした染色のワークショップを行います。このワークショップでは、新潟県の造形活動において長岡造形大学が情報を発信したり、地域からの情報を集約し再発信したりすることを再考する機会になれば、と考えています。

美術館ワークショップ……県立近代美術館／長岡市千秋3丁目278-14

子どもがひもとく「トミオカホワイト」
～子どもたちと地域の美術館との交流が生んだワークショップ～

コシヒカリの里、南魚沼にひっそりとたたずむトミオカホワイト美術館。その美術館と地域の中学校の生徒との交流に取り組んできました。その美術館と中学生との交流をワークショップという形で子どもたちが表現します。
本年、長年親しまれてきたこのトミオカホワイト美術館は経営難により南魚沼市に運営が委ねられました。美術館を取り巻くこのような厳しい状況がある今、地元の中学生と美術館との交流がもつ意味について、子どもたちによる「ワークショップ」という形で、もう一度見つめ直してみたいと思います。
子どもたちがひもとく「トミオカホワイト」の世界をどうぞご堪能ください。